



「大切な誰か」とともに生きる未来

教頭 熊谷 禎子

今年1年の世相を表す漢字は「密」（はがきやインターネットを通じた全国からの応募総数は20万8025）。12月14日、京都清水寺の貫主が大きな筆で書く姿をニュースで見た人も多いと思います。選ばれた理由には、新型コロナウイルスの感染拡大で「3密」を意識して行動した人が多かっただけでなく、オンライン等で人との関係性が「密」接になったことがあるようです。しかし、このような「大切な誰か」に対する意識が高まった一方で、ネット上の誹謗中傷や差別的表現が目立つといった、人間関係にこれまではなかった変化があるように感じます。自分にとっての「大切な誰か」とは誰なのか、個々の想像力の幅が試されるだけでなく、その過程で相手との関係性があらためて問われることにもなると言えます。

朝日新聞の社説に詩人石川逸子「風」の一節が載っていました。「遠くのできごとに 人はやさしい／近くのできごとに 人はだまりこむ／遠くのできごとに 人はうつくしく怒る／近くのできごとに 人は新聞紙と同じ声をあげる」国語の授業で生徒に感想を求めたところ、「身近なことほどよく考えて正しい判断が必要だと思う」という声がありました。私たちはもっともらしい意見や、大きな声になびきがちですが、そのような時こそ、自分に問いかけ自分の思いを見つめ直したいものです。「近くのできごと」に自分の意思で立ち向かう勇気が、今ほど求められる時代はないかもしれません。ジョン・スチュアート・ミルの「他人の意見と対照して、自分の意見の間違いを正し、足りない部分を補う。これを習慣として定着させよう」という姿勢は、危機的社會に広がる無力感を乗り越えるヒントを与えてくれます。私たちが様々な場所で、自分と異なる価値観を持った相手との絶え間ない対話と議論を重ね、信頼できる思想を鍛え共有するという日々の営みにこそ、これから進んでいくための手掛かりがあると考えます。「大切な誰か」とともに生きる未来に思いをはせながら、新たな年の始まりに期待したいと思います。

進路決定の概要

進路指導部 石塚 道康

12月上旬現在、3年生の約7割の生徒が進路を確定しています。例年よりも早い進捗状況ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響も有り、進路決定を先延ばしにしない傾向が色濃く出た結果になっています。特に、就職は志望した全ての生徒が内定を頂き、公務員は国家公務員合格者が1名出たことを筆頭に概ね好調でした。国公立大学は総合型・学校推薦型Iなど昨年度よりも受験者数が大幅に減少しましたが、合格率は健闘しています。3年生の頑張りが形になって表れているものと考えます。



3年生 進路壮行会の様子

また、共通テスト出願者は51名で、第3回定期考査後から特別時間割を組んで対策を進めています。現役生は直前まで成績が伸びるとよく言われていますので進路未決定者の支援をさらに力を入れて行きます。今後もこれまでと同様に、進路が決定した生徒もこれから決定を目指す生徒も皆で協力し合って、3年生全員の進路目標達成を目指しましょう。

進路志望・決定状況

12月7日現在

進路状況	合計	国公大	私大	短大	専門学校	民間	公務員	未定
志望者数	164	25	49	23	48	11	8	0
決定者数	115	5	32	22	39	11	5	0
(昨年同期)	(126/171)	(13/36)	(49/59)	(13/15)	(37/43)	(12/13)	(4/5)	(0/0)

2年生秋田の文化を知るツアー

2年部主任 岸 由美

11月11日(水)、修学旅行が予定されていた期間の1日を利用して、2学年では「秋田の文化を知るツアー」を実施しました。混雑を避けるために3つのコースを企画し、希望するコースに参加しました。

男鹿コースでは、なまはげ館・伝承館でなまはげの由来や歴史を学びました。なまはげの実演では「部活ばりやっでねで、勉強もしてらが」と、気合いをかけられました。午後は、男鹿水族館G A Oでシロクマの豪太やクルミに会い、お気に入りの水槽をじっくり観察してきました。

横手コースは、秋田県立近代美術館で大野源二郎写真展を鑑賞しました。昭和26年～50年にかけて撮影した農村風景と平成元年に撮影した県内小規模校・分校の風景が展示されていました。県内にたくさんの小学校があり、そこに暮らす人々の生活があったことを知る機会になりました。秋田ふるさと村では、県産品を味わい、スペースシアやワンダーキャッスルでは童心に返って楽しみました。

増田コースでは、横手市観光協会の方から増田の歴史についてガイダンスをしていただき、その後神居先生の解説のもと町歩きをしました。自主研修では、内蔵めぐりやまんが美術館見学をしました。おいしい飲食店が多く内蔵もたくさんあり、昼食会場を決めたり見学先を決めたりとプランを立てる楽しみが大きかったコースでした。まんが美術館は蔵書が豊富で、館内のレイアウトも工夫されておりいろいろな人が楽しめる所でした。

秋田に住んでいても、知らない秋田の歴史や文化は多いものです。これまで意識したことのなかった秋田の文化や人々の生活に目を向け、今の私たちの生活がその延長線上にあることを感じてほしいと思います。



男鹿コース・なまはげ伝承館の様子

各種大会成績

○部活動

競技	大会名	種目	成績	氏名
弓道部	秋田県高等学校新人大会	女子団体	優勝	東北選抜・全国選抜大会出場
		女子個人	第3位	足利有花
		女子個人	優秀選手賞	足利有花
		男子団体	準優勝	東北選抜大会出場
		男子個人	第3位	丸山哲平
		男子個人	優秀選手賞	丸山哲平
	秋田県高等学校体育連盟 中央支部新人大会	男子団体	第1位	
		女子団体	第3位	
バドミントン部	秋田県高等学校新人大会	女子学校対抗	準優勝	東北大会出場
		女子I部ダブルス	準優勝	今野有理・佐藤洸佳 東北大会出場
	秋田県高等学校体育連盟 中央支部新人大会	女子学校対抗	第3位	
		女子I部ダブルス	第3位	今野有理・佐藤洸佳
		女子I部シングルス	優勝	今野有理
		女子II部ダブルス	第3位	足利ころこ・伊藤沙倉
女子II部シングルス	準優勝	伊藤沙倉		
サッカー部	秋田県高等学校新人大会		第3位	
	第99回全国高等学校サッカー選手権大会秋田県大会		第3位	
ソフトボール部	秋田県高等学校新人大会		第3位	
	秋田県高等学校体育連盟 中央支部新人大会		第3位	
写真部	秋田県高等学校文化連盟写真部 会中央支部展		入選	木村美優
			佳作	森本七海・早坂心来
	秋田県高校文化祭総合美術展	写真部門	推奨	飯沼愛花
書道部	秋田県高校文化祭総合美術展	漢字臨書	入選	高橋純菜・塚田澤空
美術部	秋田県高校文化祭総合美術展	絵画部門	推奨	伊藤 和・牧 春瀬
		デザイン部門	推奨	川村直生・伊藤 和・澤田真菜・大庭千花・横山 結
少林寺拳法	秋田県高等学校新人大会	男子単独演武自由	優勝	船木剛弘

○委員会

委員会	大会名	成績
出版委員会	第44回全国高等学校総合文化祭	文化連盟賞
	第25回秋田県高等学校新聞コンクール	優良賞